

（議員用・会派用）

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

7 年 4 月 23 日

八尾市議会議長
田中 慎二 様

議員名又は会派名とその代表者名
大阪維新の会 八尾市議会議員団
幹事長 松本 剛

条例第13条第1項の規定により、 令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 (単位：円)

項 目	金 額
政 務 活 動 費	7,560,000 円

2 支出 (単位：円)

項 目	金 額
支 出	調査研究・研修費 371,580円 /
	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費
	広 報 費 3,500,356円
	広 聴 費
	日 常 活 動 費
	人 件 費
	事 務 所 費
	要 請 ・ 陳 情 活 動 費 25,976円
	事 務 費
	合 計 3,897,912円 /

3 収入支出差引残額（返還額）

3,662,088 円

注）支出が収入を上回る場合は、残額欄には0円と記載のこと。

様式第17号（第9条関係）

政務活動費における活動報告書

令和6年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

大阪維新の会 八尾市議会議員団 幹事長 松本剛



【テーマ】

防災に関する取り組みについて、公会計改革について

【活動概要】

防災：令和6年1月1日に発生した能登半島地震を受けて、本市における防災力の向上に繋げるべく、このテーマを選定した。熊本地震において市庁舎に甚大な被害を受けたが、様々な工夫により課題解決をしておられる熊本県宇土市の取り組みを視察した。

内容は主に下記に様な内容だった。

- ・ 防災前に想定していた食事の備蓄量では少なく、発災後には大幅に備蓄数を見直すと共に自宅での備蓄量を増加する様に周知啓発に努めた。
- ・ 仮設住宅の設置に関しては県の事業として実施されたが、地域支えあいセンター等で情報共有し、県との連携により進めることができた。
- ・ 災害ゴミに関して、民間事業者へ事業委託していたが、大きな混乱等はなかった。数十億の費用が掛かったが、9割以上は国や県の予算が充当された。
- ・ 市庁舎が被災したことにより、災害対策本部を近隣学校の体育館に設置したが、電話回線の本数が少なく、対応に追われるという課題があった。手作業で電話線を引いて対応するなど苦労があった。
- ・ 災害関連死が多かったことについての教訓を生かし、地震後には医師会との連携が強化されたことにより、情報共有はもとより、衛生面、栄養面の指導なども恒常的にして頂けるようになった。

上記内容を踏まえて、本市の防災に関して議会活動を通じてフィードバックする必要があると痛感した。

公会計改革：本市において事業の費用対効果を把握し、時代に合わない事業の廃止や見直しが必要なことから、大胆な公会計改革を実施した熊本県宇城市を視察した。

聞き取り内容は主に以下の内容。

- ・ 公会計改革による個別施設の費用対効果の抽出により、施設の統廃合が進められた。市民に向けて、データを提示するだけでなく、丁寧な説明と統廃合によるコストカット、財源捻出によりさらに費用対効果の高い施設設置がされる等、単なるコストカットではなく税の効果的な執行について理解を求めながら事業を進めた。
- ・ 総務所管の公共施設マネジメント課という専門部署が施設管理に関して主導し、文教施設の統廃合についても教育委員会とスムーズに連携することが出来た。
- ・ 導入当初は苦労したが、担当課が協力的な事、マニュアルを作成したことにより財政課の職員を育成したことが奏功したと考える。

国への要望：国道25号線大阪柏原バイパス整備促進要望の為に国交省及び財務省に要望した。
詳細は別添資料にて。